

ライフデザイン出前講座開催レポート（静岡県立駿河総合高等学校）

実施学校	静岡県立駿河総合高等学校	実施科目	産業社会と人間
日 時	2024 年 10 月 16 日(水)	会 場	体育館
学年・参加人数	1 年生：203 名 教員 12 名	講師	国家資格キャリアコンサルタント 杉山知子
ロールモデル	① 30 代 男性 N.Yさん 長男（中2）、長女（小6）、次女（小4）のお子さんあり。 大学卒業後は、公務員として保育施設にて勤務をしていた。保育の大切さを学び、市役所の窓口業務に異動をした。異動した窓口業務では、保育サービスが行き届かず苦しんでいる人がいることを知り、独立して保育施設を立ち上げる事を選択した。現在は、単身赴任にて夜間保育園を運営している。自分たちの家族らしいスタイルを確立し、仕事と家庭の両立をしている。 ② 30 代 女性 T.Iさん 産休と育休を経て、保育士として活躍している。現場の最前線で保育業務に従事している。長女（小4）、次女（年長）のお子さんあり。仕事で辛いことも、お子さんに支えられながら頑張ることができていると、子育てと仕事の両立を行っている。		
講座概要			
	① 講義（10 時 50 分～11 時 20 分） ライフデザインとは何かという説明から、人口減少・晩婚化・出産の高齢化等の話をしていただいた。そのような現状がある中でも、自分の人生を自分でプランニングすることの大切で、「何ができるか？」「どうなりたいのか？」考えること、今はできることを増やしていくことが大切であると言うことを、話していただいた。		
	② ロールモデル（11 時 30 分～12 時 13 分） 今回は男性 1 名・女性 1 名の保育士のロールモデルにご登壇いただいた。保育士という仕事をしながら、自身の子育てスタイル等について等お話いただいた。また、お二方とも、仕事もやりがいがあり楽しいが、自分の子育ても楽しんでいる様子を写真を見せながら語ってくださった。		
	③ ワークシート作成（12 時 13 分～12 時 35 分） ワークは、あくまで自分自身のライフデザインであるという趣旨を伝え、回収はしないので自由に記載してほしい事を説明し実施。		
運営から見た良かった点			
保育実習を目前に控えていたため、実際の保育士から話が聞けた点は、今後の実習のイメージも行いやすかったのではないかと思います。また、仕事と私生活は分けて考えがちであるが、ロールモデルの方が上手く生活と仕事について伝えてくださったので、イメージがしやすかったのではないかと思います。			

ライフデザイン出前講座開催レポート（静岡県立駿河総合高等学校）

運営から見た改善点
220 名と大人数であり、集合・資料の配布に時間を要してしまった。開始時間が遅延したため、大人数の場合には注意が必要だと思います。ワークシート記入には、ペンが進まない生徒さんが多い印象で、グループワークも取り入れたが、雑談になっている様子があったため、改善が必要だと考えます。
実施校からのコメント
日本の抱える少子化にライフデザインという講義をうまく合わせて講義をしていただきました。また、ロールモデルが 2 名とも保育士であり、保育士としての姿だけでなく、母として父としての話を聞いたことがとても良かったです。保育実習を控えた生徒たちには、新しい気づきになったのではないかと思います。
総評（講師・運営）
講義の内容に対して、時間が 30 分と少ないため駆け足になってしまった部分がありました。また、講義の内容をゆっくり丁寧に行うことができると、ワークシートも記入しやすいのではないかと考えます。1 年生ということで、まだ具体的に自分のライフデザインを描くことは難しい様子でしたが、今回の講座で「ライフデザインを考えるきっかけ」にはなったと思います。